

支え合い、課題解決のできる地域へ

～津幡町地域包括支援センターの取組み～



津幡町地域包括支援センター
寺本紀子

津幡町の状況

人口 約37000人

高齢化率 津幡町18.2%(全国23%/石川県23.4%)

A地区(58.5%) B地区(30.5%) C地区(29.8%) D地区(20.7%)

E地区(17.9%) F地区(14.5%) G地区(12.9%)

後期高齢化率 津幡町8.9%(全国11%/石川県11.8%)

社会資源

入所施設	特養2 老健1
地域密着	グループホーム9 小規模多機能1
通所	通所介護5 通所リハビリ1
訪問	訪問介護3 訪問リハビリ1 訪問看護1
医療	町立総合病院1 開業医11 歯科医17

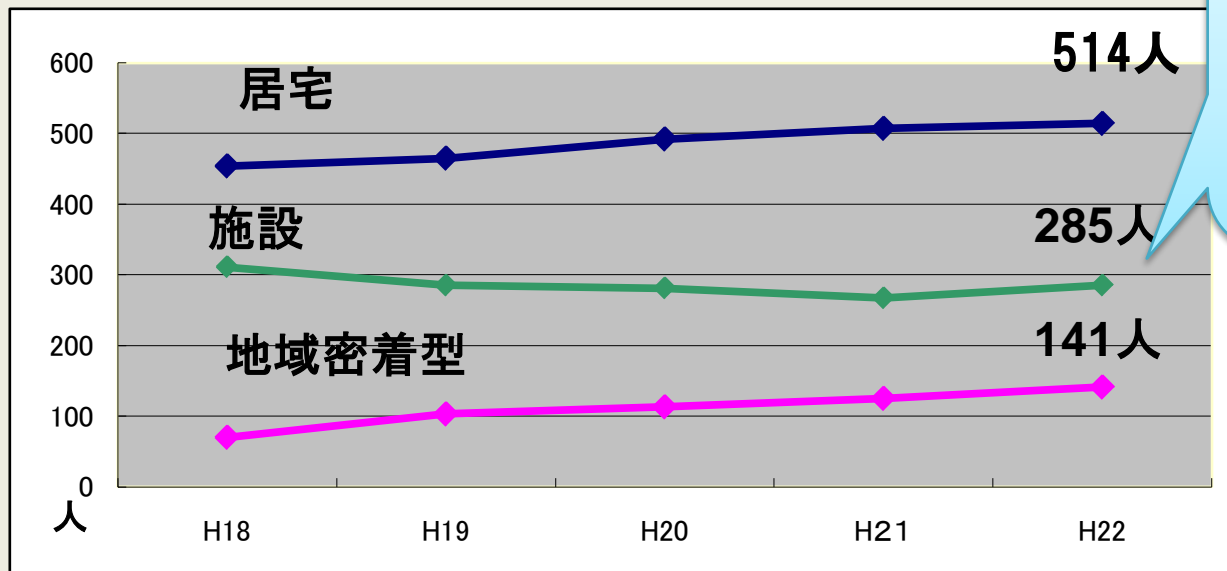
【無いもの】

住まい 軽費老人ホーム 有料老人ホーム 高齢者専用住宅
医療 介護療養型医療施設 精神科病院 心療内科 透析施設
その他 外出支援事業所 障害者相談支援事業所

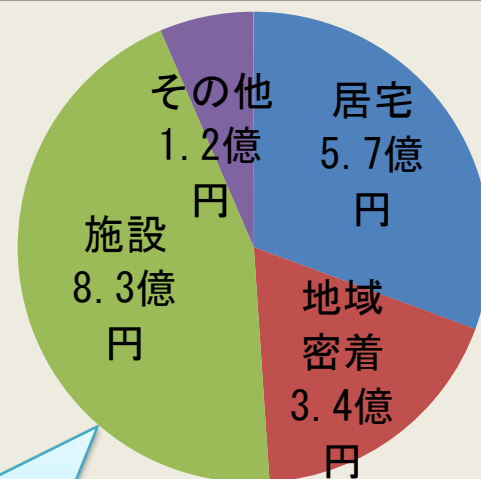
地域包括支援センター(町直営1ヶ所・健康福祉課内)

主任ケアマネ(センター長)1人 保健師2人 社会福祉士3人
プランナー1人 (兼務)作業療法士1人 保健師1人

介護サービス利用者数の推移



施設利用者数は、
居宅：施設は2：1
地域密着を合わせると
居宅：施設(GH・小規模
多機能含む)5：4



津幡町のサービス給付費 (H21年度)

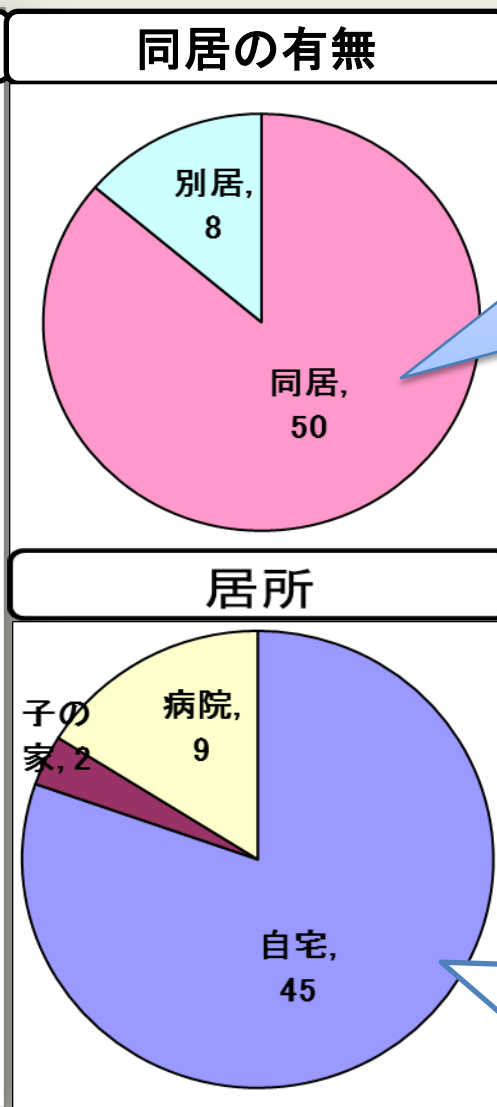
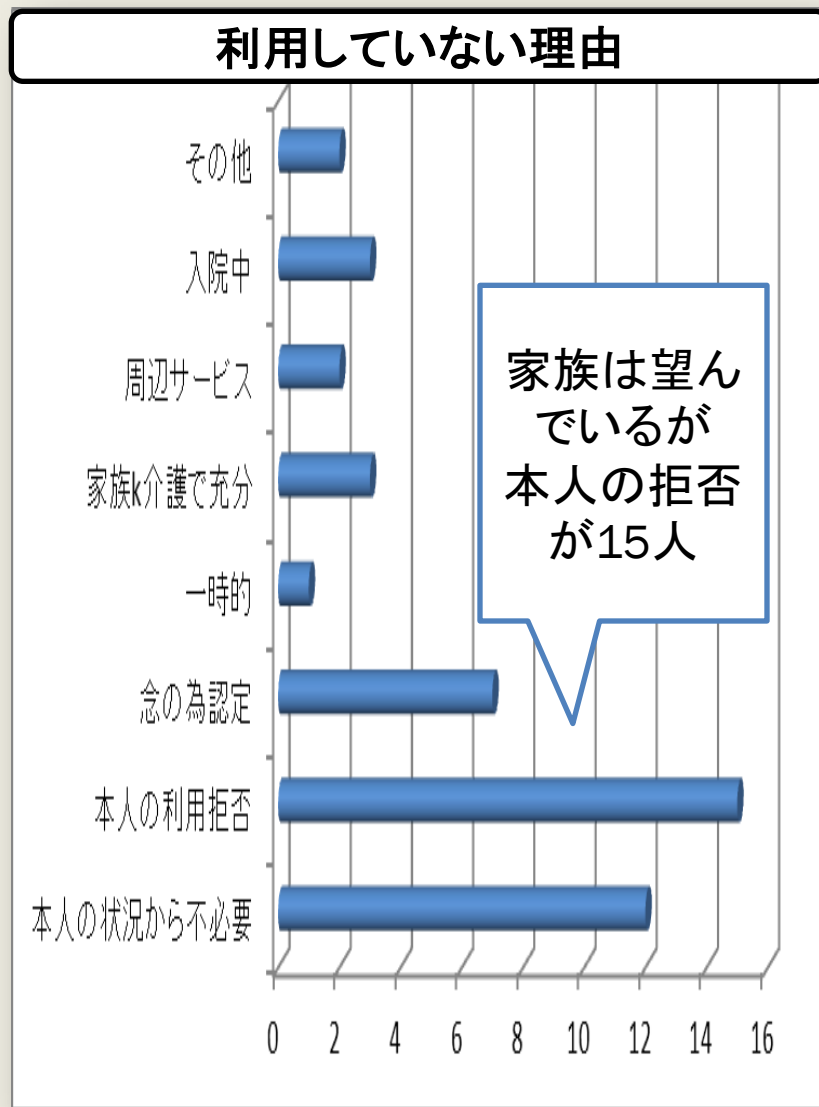
利用者一人あたりの給付費等

施設	311万円
地域密着型	275万円
居宅サービス	111万円

施設サービス給
付費が一番多い。

施設ケアはコストが居宅の約3倍

H21年度介護認定者でサービスを使っていない人→58人



家族と同居の人が多い→家族の負担は大きいのでは？

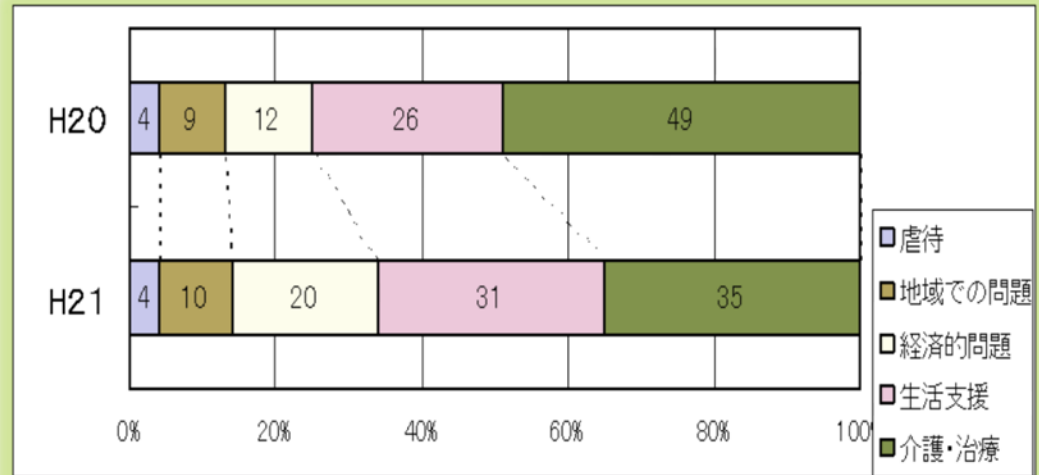
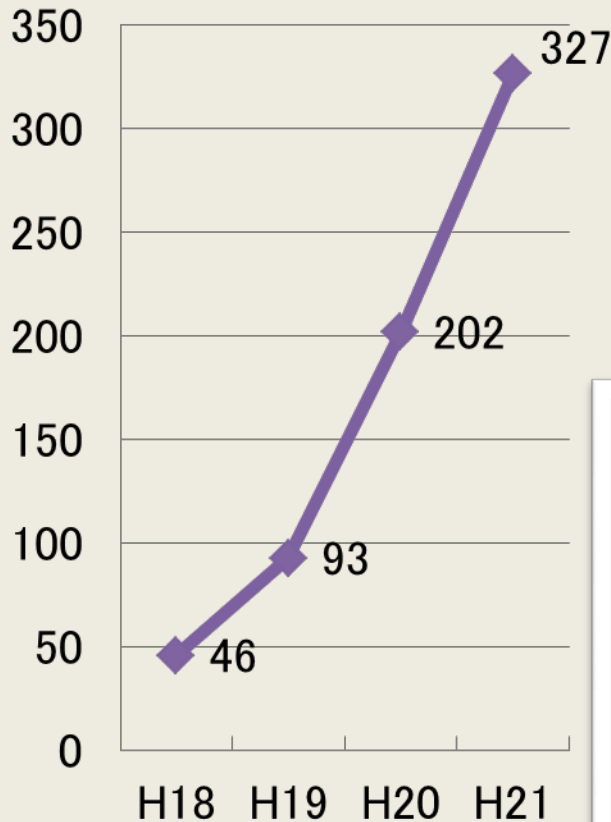
家族支援が必要

自宅で暮らす人が多い→家族の負担が大きいのでは？

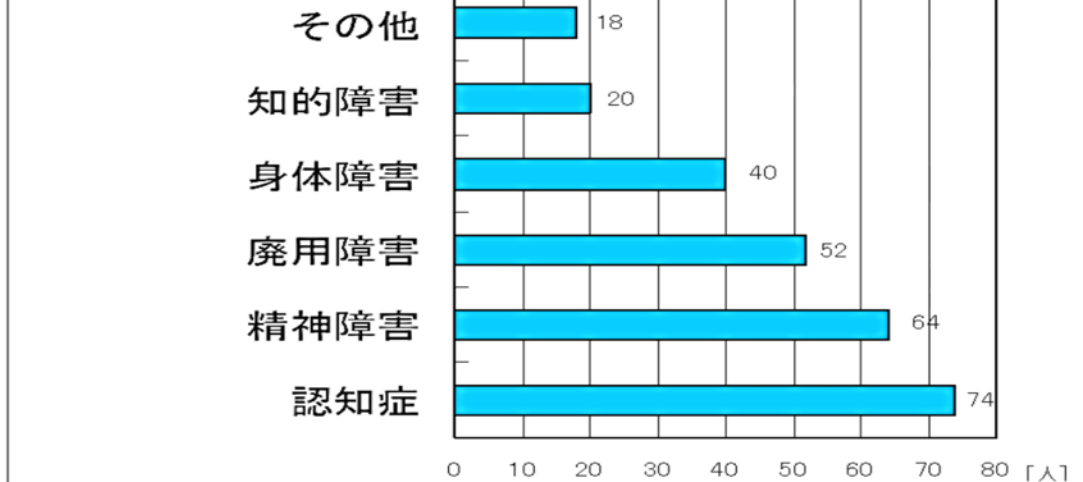
新規総合相談

相談内容

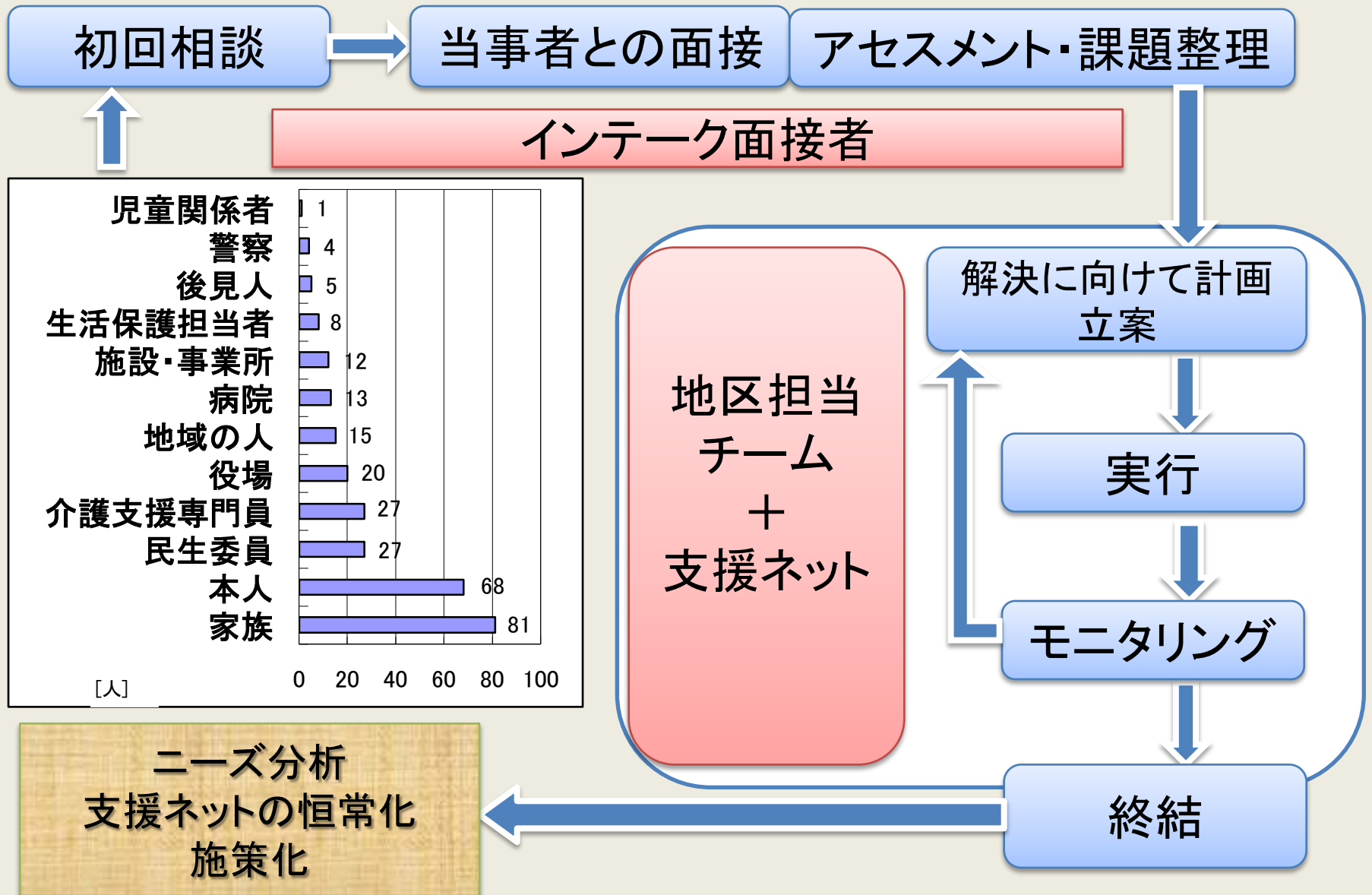
件数の変化



当事者の状況

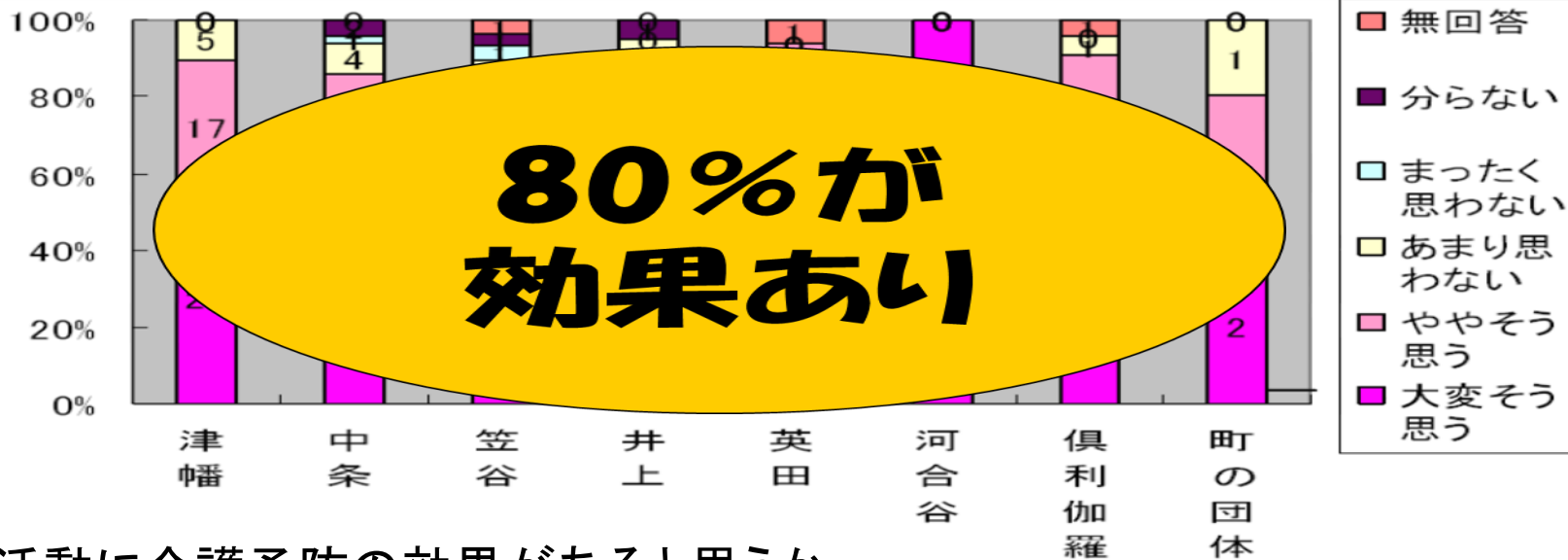
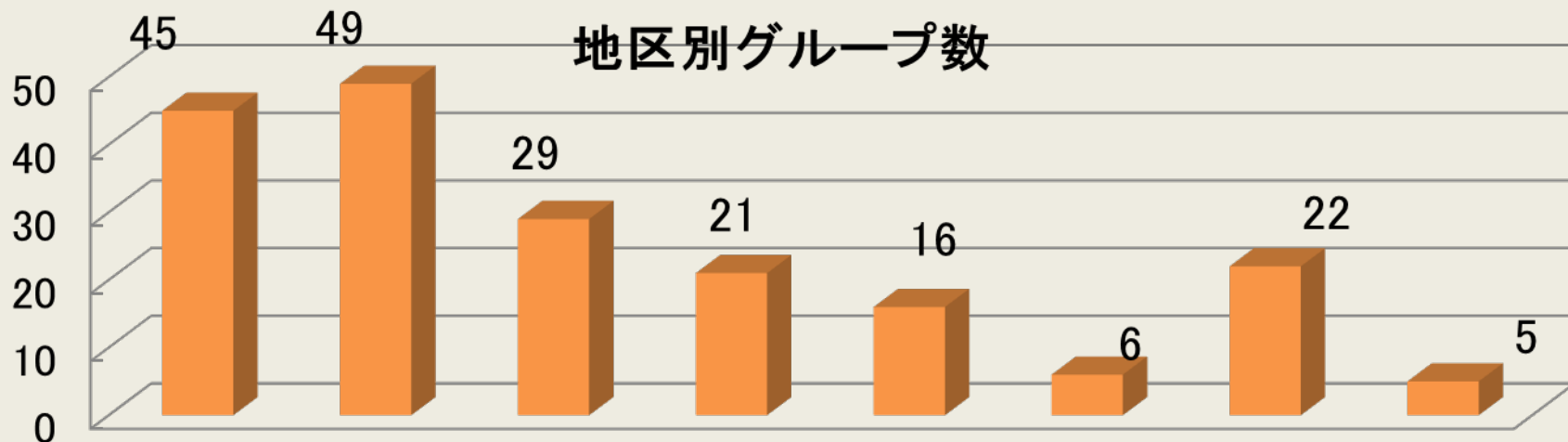


総合相談の流れ



地域の介護予防活動を見つける

65才以上の人に参加する
町内グループの調査



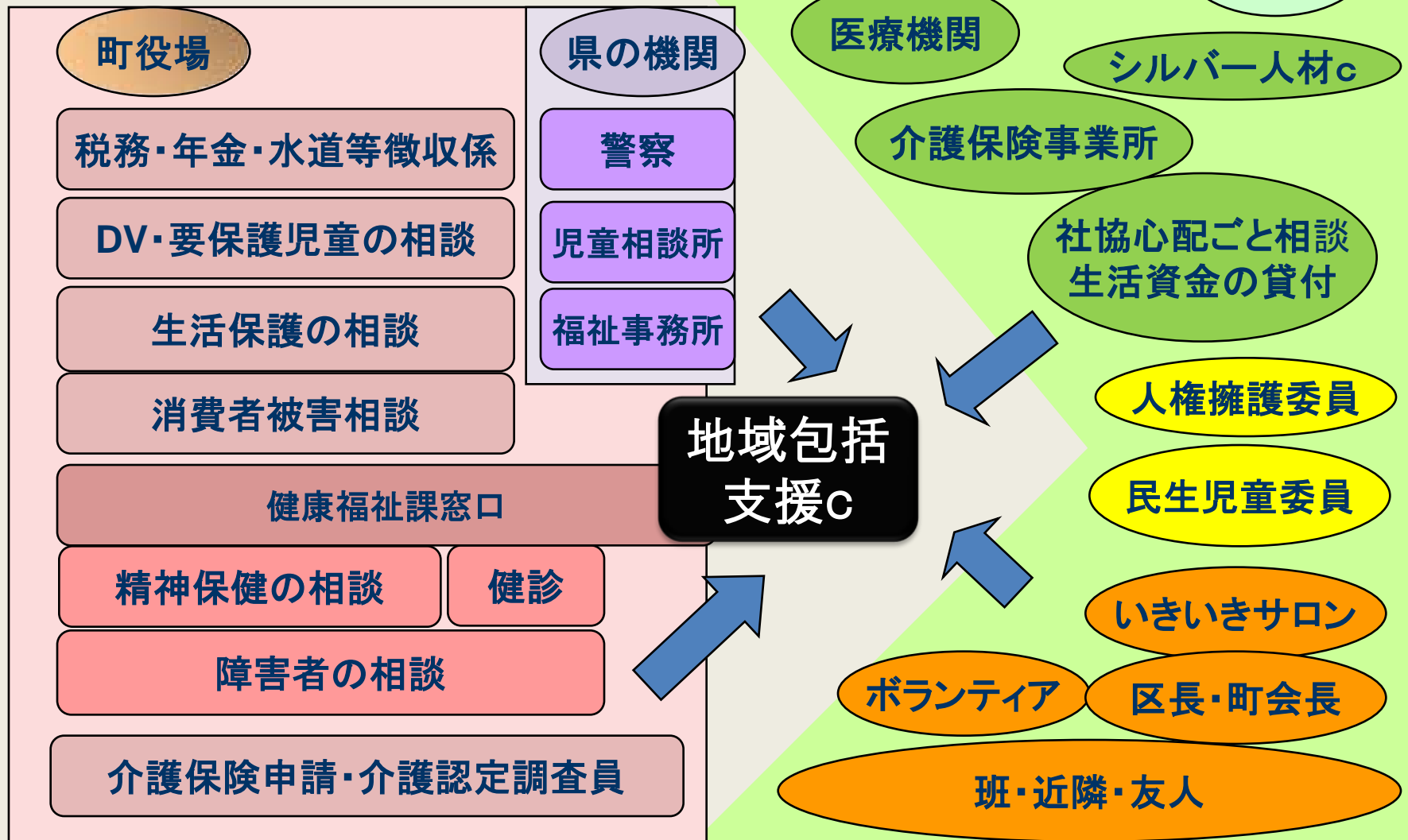
活動に介護予防の効果があると思うか

地域と行政の協働を生み出すには

まず一緒に **知る** ところから
はじめよう！

- 地域にはどんな **ニーズ** があるのだから
- 地域にはどんな **人材（社会資源）問題解決の力** があるのだから
- 地域にはどんな **問題解決の方法、ルール** があるんだらう

ニーズや人材を知るルート



相談内容

一緒に住んではいるけど、家族は話もきいてくれない。

もの忘れがひどくなった。今のうちに遺言書を作っておきたい

制度やサービスがあるらしいが、複雑でわからない。どこにいったいいのかも…

息子に障害があり、仕事にもついていない。私が死んだらどうなるんだろう



入院やサービスを勧められても、保険料滞納しているし、無年金の身では…

元気だった頃は気楽だったが、身寄りもないし、地域とも関係してこなかったし、むなしい。

相談内容

もの忘れがひどいのよ。
火でも出されたら

怒鳴り声が毎日
聞こえてくる、
心配な家だな
あ。

昨日から姿が見
えない。電気もつ
いたままだし。中
で倒れているの
では？

地域でみえることは
いっぱいある！

町会費払えないっ
て。生活に困って
るみたい。

夕方になると家の前
にぽつんと座ってい
るおじいちゃんがい
るよ。

新品の布団の包みが玄関にあった
けど、詐欺にあったんじゃない？



相談内容

そろそろ退院。週3回の透析通院どうしよう。

担当のお宅に閉じこもりの息子さんがいるのよ。

家族の問題ってどうしたらいいのか迷うわねえ

息子さんが失業したみたいで利用料が滞ってる。

ケアマネなど専門職

通所送迎時、家族の冷たい態度が気になるなあ。

身寄りがないから、入院の保証人や亡くなったあとのことが気になるわ。

ごみの中に埋もれて暮らしてるのよ。ニオイも強くて。

これまでの問題解決の仕方は

- (行政) ・ 困ったら来なさいというスタンス
- (地域) ・ 行政に伝えたら終わり、あとはお任せ
 - ・ 行政に言ってもなにもしてくれないと地域で抱え込んでしまう
 - ・ 重度化して、地域から排除の方向で行政へ

これからは

予防の段階から問題解決段階まで
地域と行政と専門機関が協働して
課題解決し、地域生活を支える

津幡町の誰もが
安心して住み続けられる
地域づくりへ

地域と行政と専門機関が 協働して 課題解決し地域生活を支える仕組みへ

1. 意識を変える

—研修会、講座、取組みを通じて—

- 誰もが住み続けられる地域をめざす
- 地域支え合いの重要性を伝える
- 地域住民(当事者含む)、行政、事業所、専門機関との連携、チームアプローチの必要性を伝える

2. 場・人材を見つけて、使う

—相談でのアセスメントの工夫、ニーズ調査、 資源調査、取組みを通じて—

- 相談では、エコマップ、地域マップ、生活史表、マトリックスを使い、環境や歴史の中で課題をとらえる
- 調査によるニーズの把握、人材の発見、発掘
- 取組みの中でのニーズの把握、人材の発見、発掘

地域と行政と専門機関が協働して 問題解決し、地域生活を支える仕組みへ

3. 場・人材をつくる

—養成講座や自主活動支援を通じて—

- ニーズに対応できる社会資源や人材がなければ作るという視点をもつ
- 行政が作るより、地域住民の自主活動として展開することを支援する

4. しくみをつくる

—さまざまな方法によるニーズの把握とネットワークの形成を通じて—

- 行政が恒常的なしくみとなるよう事業計画を立て予算を獲得する
- ネットワークを活用して地域の生活支援の仕組みをつくる

地域はバームクーヘンのように

町地域包括支援センター

私

家族

向う
三軒

ご近
所

ご町
内

学区

市町
村

福祉連絡員

地区社協
がない

民生委員

町
社協

住民参加型福祉研究所 本原孝久氏作成図に加筆したもの

地域包括が関わり形成した さまざまなネットワーク【町レベル】

地域・社協・事業所・行政・専門機関・【包括】

- 認知症安心ネットワーク
 - ・ 医療連携部会
 - ・ 介護予防部会
 - ・ 徘徊対応訓練地区実行委員会
- 自殺予防・相談ネットワーク
- 高齢者虐待防止対応ネットワーク(マニュアル作成)
- 障害者自立支援協議会／個別ケア会議

地域・社協・【包括】

- 地域支え合いマップ作成活動
- 地域支え合いボランティア養成
- 介護予防メイト(脳いきいきメイト・運動メイト)養成

地域包括が関わり形成した さまざまなネットワーク【町レベル】

事業所・【包括】

- 定例事例検討会、ケアマネジメント研修会
（ケアマネジャー、行政保健師、地域包括職員）
- 施設ケア研修実行委員会
（施設介護職員、地域包括職員）
- グループホーム連絡会
（グループホーム職員、地域包括職員）

地域・【包括】

- 隙間ニーズ対応ボランティア活動支援
- キャラバンメイト(みかん隊)活動支援
- 高齢者温泉施設支え合い活動支援
- 介護者のつどい(お話を聞く会)
- 公民館との連携(エンディングノート講座・男性講座など)

地域包括が関わり形成したさまざまな ネットワーク【郡市レベル】

- 介護支援専門員協会地域支部との共同事例検討会
- ヘルパー事業所連絡会活動支援
- 若年性認知症の人と家族の会活動支援

【県レベル】

- 認知症関連事業地域包括支援センター連絡会
- 高齢者虐待対応専門職チーム
（弁護士・社会福祉士）
- 高齢者虐待対応標準研修講師チーム

まとめ

- 地域包括支援センターには、予防段階から重度化した対応困難な段階まで幅広い、様々なニーズをもった相談が寄せられる。
- 行政は、事業計画立案にむけ、まとまったニーズ調査が可能だ。
- 相談事例からのニーズ把握と行政によるニーズ調査に基づき、「町民誰もが、どんな状態になっても安心して安全な生活を送ることができる地域」になるよう、地域に埋もれている社会資源や人材の活用を図りながら、制度サービスの改善や開発、地域の仕組みづくりに取り組める地域包括支援センターでありたい。